辺野古土砂北九州

発行…2020 年６月・No.7

和白干潟の原稿と一緒に届いたこの写真、「いいなぁ」と思い、表紙に使わせていただきました。ちなみに、白い鳥がクロツラヘラサギ(国・県の絶滅危惧種)で 1980 年代初頭から、黒っぽいミヤコドリ(県の絶滅危惧種)は江戸時代から、この和白干潟に飛んできているそうです。すごいなぁ…。

≪目次≫

【沖縄】「B27」の軟弱地盤は水面下 77mまで(宮城義弘)・・・・・・・・・・・・・ 2 ページ
国・防衛省の「設計概要変更申請」に対する抗議文(辺野古土砂北九州)・ 5 ページ
【基地】新田原基地(宮崎県)/全米軍が使用対象(佐川嘉正)・・・・・・・・・・・ 6 ページ
【連続エッセイ】コロナ禍の中でも真白にイジュは咲く(浦島悦子)・・・・・・・ 8 ページ
【生物多様性】絶滅危惧種の宝庫・和白干潟(山本廣子)・・・・・・・・・・・・・ 9 ページ
【連続学習会】地位協定・合同委員会・安保を学ぶ(天久泰弁護士)・・・・・・ 13 ページ
今後の予定・・・ 16 ページ

写真提供…宮城義弘・佐川嘉正・和白干潟を守る会・八記久美子（敬称略）

発行 「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会

ウソ・ごまかし・隠蔽の安倍政権&沖縄防衛局

「B27」の軟弱地盤は水面下 77mまで

「新基地建設反対名護共同センター」スタッフ・宮城義弘

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設をめぐって、河野太郎防衛相は５月１２日の参院外交防衛委員会で、埋め立て予定海域の「B27」地点の軟弱地盤が、従来の説明より７メートル深い７７メートルまで存在すると述べた。井上哲士議員への答弁である。井上氏は、防衛省沖縄防衛局の軟弱地盤の改良工事に伴う設計変更申請の沖縄県への提出は、新型コロナウイルス拡大防止に全力をあげる中だったと批判した。

■嘘の上塗り

「B27」地点の軟弱地盤は、水面下90mまで存在することが明らかになっているが、70m以下は「非常に固い粘土層」であり、地盤改良は必要ないというのが従来の政府の説明だった。井上氏はこれに対して「Avf―c2層（非常に固い粘土層）というのは実際は77mより下にあり、70～77mの間も軟弱地盤だ」と指摘。河野防衛相はこれを認めたものの、77m以下だと説明してこなかった理由を示さないまま、「地盤改良で安定性が確保できる」と開き直った。

井上氏は、沖縄防衛局が変更申請を提出した4月21日は、新型コロナで県独自の「緊急事態宣言」が出された翌日だったと指摘。コロナ対策より新基地建設、米国を最優先させるものだと批判し、設計変更申請の撤回を求めた。

辺野古・大浦湾の米海兵隊新基地建設予定地に広がる活断層、軟弱地盤をめぐって、防衛省が国会に提出した土質調査報告書に、防衛省の説明を大きく下回る地盤強度データが添付されていた問題が国会で明らかになった。

河野防衛大臣は3月5日の参院予算委員会で、地盤改良に関する専門家会合・技術検討会で「このデータについて議論したことはない」と認めた。

この図の通りではなかった ⇨

☀水面下 77m まで工事できる船は、日本にも世界にもありません。

■ボーリング調査のやり直し要求

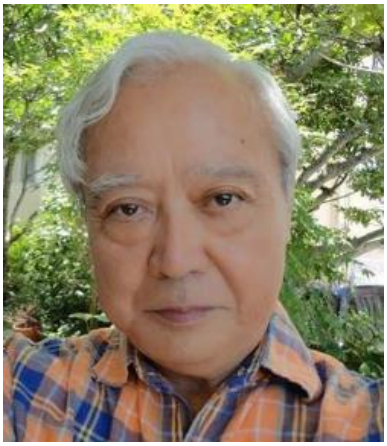
大浦湾の軟弱地盤は海面下90mまで広がる。防衛省は軟弱地盤の存在が確認されている「B27」地点の70m以深についてこれまで「非常に固い」と説明してきた。土質調査報告書には、技術検討会で示されたデータの3分の1の強度しかないところもあった。

この時の質問者も井上氏である。井上氏は「都合の悪い数字は採用せずやっている」と批判、防衛省が「70m以深は地盤改良が必要ない」とした根拠を示すよう求めた。

防衛省の村岡猛審議官は、「B27」周辺の3地点が「非常に固い粘土層」に分類されることから「B27」も同じ土層だと強弁した。

井上氏は、同じ土層内で砂の粘性が大きく異なっているデータを示し、「土層が同じだから土の固さも同じということにはならない」と追及。「非常に固いという根拠はない」と指摘、ボーリング調査をやり直すよう求めた。

防衛省はこの間、「非常に固い粘土層」との判断は、B27地点から150m、300m、750m離れた3地点から採取した土を使った室内試験の結果によるもので、「B27そのもの（の強度の検査）はやっていない」と説明してきた。しかし、3地点とB27地点とは距離があり、地盤強度を推定するのはもともと無理がある。



筆者の宮城義弘さん

■地盤改良は完成しない

ところが、実際は、防衛省の委託業者がB27地点から採取した土で地盤の強度を調べる試験を行っていた。しかも、試験結果では、海面下70mよりも深い層で、防衛省が示してきた地盤強度の3分の1程度しかない場所があった。これは、地盤強度の6段階中2番目の軟らかさとされている。防衛省が「安定的な施工が可能」とする根拠は成り立たなくなった。

この試験結果は、防衛省が昨年 3 月に国会に提出した、約 1 万ページに及ぶ土質調査報告書の巻末資料の中に、英文で掲載されていた。

防衛省は、この試験結果を、これまで技術検討会に示してこなかった。データ隠ぺ

海からも抗議を続ける人たち（2020 年 4 月 14 日現在はコロナの関係で抗議行動は行われていません）

いと批判されて当然である。

河野防衛相は、2月12日の衆院予算委員会で、赤嶺政賢議員の質問に、「(B27では)土の種類を確認するための物理試験を実施しているが、土の強度を測るための力学試験は行っていない」「受注者が船上において簡易な方法で行った」と答弁した。しかし、判明した試験結果のデータは、土の種類ではなく、地盤の強度を示す数値である。

今回のことで、地盤改良そのものが完成しない可能性が浮上した。新基地建設の破綻はいよいよ明白である。

■調べるほど疑問と矛盾

防衛省沖縄防衛局は3月11日、技術検討会の会合を防衛省内で開いた。これまで技術検討会に示されてこなかった、水面下90mに達する「B27」地点の地盤強度のデータが初めて防衛省から示された。技術検討会は、資料を分析、検討することなしに「信頼性が低い」と決めつけ設計に採用しないとした。

さらに、米海兵隊新基地の設計震度を小中規模程度の地震を想定した「レベル1」としたことについても、委員から「使用者の米軍側が了解している」との意見が出され了解された。

立石雅昭新潟大学名誉教授らは3月2日、防衛省の地盤調査は「科学的に不十分」と指摘、7項目の質問書を技術検討会あてに提出し回答を求めた。

立石氏は、辺野古・大浦湾の米海兵隊新基地建設予定地、海面下90mに広がる活断層、軟弱地盤について、①防衛省から技術検討会にデータが示されていなかったこと、②立石氏ら専門家から防衛省に「地盤調査は科学的に不十分」として再調査を求められながらこれを拒否したこと、③さらに、空港の耐震設計で、辺野古新基地が想定される最大規模の「レベル2」ではなく中規模程度地震の「レベル1」とされ、最大加速度の想定が約40ガル(震度4程度)しかない問題に、防衛省の根拠が極めてあいまいで、科学的調査、分析にほど遠いこと、④それに加えて、建設強行で繰り返される違法、無法行為の数々――新基地計画は、調べれば調べるほど疑問と矛盾に満ちている。

(みやぎよしひろ)

立石雅昭新潟大学名誉教授。防衛省の地盤調査は「科学的に不十分」と指摘。7項目の質問書を技術検討会あてに提出し、回答を求めた。

沖縄の「勝つまであきらめない」の合言葉と行動に、全国の仲間も励まされている。(自粛前)

2020 年 5 月 25 日

内閣総理大臣　安倍 晋三 殿
防 衛 大 臣　河野 太郎 殿

「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会
共同代表　小田恭司・法本健吾・南川健一・三輪幸子
〒803-0816 北九州市小倉北区金田 1-3-32-308
080-1730-8895

政府・防衛省は沖縄県への「設計概要変更申請」を撤回し辺野古新基地建設を断念することを強く求めます

2020 年4月 21 日、政府・防衛省は沖縄県に対し、軟弱地盤改良工事にともなう「設計概要変更申請」（以下「変更申請」と略）を行いました。

この日は、県が独自のコロナ感染症の「緊急事態宣言」を出した翌日で、関係機関はその対応に忙殺される一方、県庁職員も半分は在宅勤務を始めていました。そのような中、何の事前連絡もないまま、県北部の土木事務所の窓口を防衛局が突然訪れたといいます。玉城デニー知事は会見で、「県が求める対話に応じることなく、県民に十分な説明もしないまま、埋め立て工事の手続を一方的に進めることは到底納得できない。国、県は新型コロナ対策に主眼を置くべきだ」と、政府の姿勢を強く批判しました。

辺野古・大浦湾は、日本初の「ホープスポット」に選ばれた宝の海です。建設地の下には活断層があり、周辺には米国基準の「高さ制限」を超える建物もたくさんあります。また、工事のできない深さの軟弱地盤もあります。誰が見ても、辺野古・大浦湾は基地建設に不適当な場所です。さらに、工期は、政府が申請した設計変更を沖縄県が承認してから 12 年もかかるといい、建設費 2 兆 5500 億円（沖縄県試算）は、国民の税金が使われます。そして県民のみなさんは、選挙や県民投票で、「新基地はいらない」の民意を何度も示しています。

防衛省は、軟弱地盤の存在が確認されている「B27」地点の70m以深について、この間、「非常に固い粘土層」と言ってきましたが、それは、B27地点から150m、300m、750m離れた3地点から採取した土を使った室内試験の結果で、3地点とB27地点とは距離があり、地盤強度を推定するのにはもともと無理がありました。ところが、実際は、防衛省の委託業者がB27地点から採取した土で地盤の強度を調べる試験を行っており、その結果、防衛省が示してきた地盤強度の3分の1程度しかない場所があることがわかりました。防衛省が「安定的な施工が可能」とする根拠は成り立たなくなっています。

2017 年の新聞報道で、米国会計検査院（GAO）は、滑走路の長さは普天間の2700mに対して、辺野古は1800mなので、緊急の場合固定翼機などが利用できないと指摘しています。また2006年5月の在日米軍再編ロードマップではすでに、航空自衛隊築城（福岡県）、新田原（宮崎県）両基地に、普天間基地の「緊急時使用」機能を移転することで合意しています。

私たちは、これまでの安倍政権と防衛省の、ウソ・ごまかし・隠ぺいの対応に強く抗議をします。また、私たちは、人を殺すこと・人を殺すことに関連する行動と税金の使い方を拒否し、人の命を救うため・守るための行動と税金の使い方を希望します。よって、今回の「変更申請」を撤回し、辺野古新基地建設を断念することを強く求めます。

この抗議文を５月 25 日、安倍首相と河野防衛大臣あてに郵送しました。

【シリーズ】日本の基地…第 7 回・新田原（にゅうたばる）基地・宮崎県

全米軍が使用対象…新田原基地

米軍と自衛隊の出撃基地に変貌中

宮崎県平和委員会・佐川嘉正

■戦時中は特攻基地として

新田原基地は、宮崎県のほぼ中央に位置する新富町の新田原台地に、1940 年（昭和 15 年）大刀洗陸軍飛行学校新田原分教場として開設されました。また、特攻基地の役割も果たしていて、終戦の年、新田原基地から特攻隊が出撃し 71 名がなくなっています。

新田原基地は、終戦後開拓地として民有化され、桑畑等の畑地として耕作されていました。しかし、1957 年に操縦学校分校として再び軍事基地に。

1958年には操縦訓練が始まり、夜間飛行も開始されました。その後基地は拡張され、1961年にはF86 が導入。さらなる拡張で滑走路が2700mに延長され、1964年にはF104 が配備されました。F86 の導入あたりから、騒音による被害を訴える住民の声が大きくなりました。

■F-15 のライセンスは新田原基地で

現在新田原基地には、F-15 戦闘機の基本ライセンスを付与する、日本で唯一の飛行教育航空隊と、航空自衛隊の最強部隊「槍の穂先」と言われるF-15戦闘機を運用して、対領空侵犯措置任務に24時間態勢で臨んでいる「第 305 飛行隊」が駐屯しています。

■40 年を振り返ると

新田原基地の 40 年を大まかに振り返ってみると、次のようになります。

○1980 年…日米共同訓練に新田原基地も関わるようになり、2000 年までに 14 回を数えました。

○2010 年～2011 年…新田原基地整備で滑走路がかさ上げされましたが、その時に作った仮滑走路は撤去されないままです。

○2015 年・・・戦争法（安保法制）成立後は、事前予告なしの日米共同訓練が行われるようになりました。

○2016 年…第 305 飛行隊が百里基地から移駐。航空自衛隊の最強部隊・出撃基地に変貌。

○2017 年…「戦闘機の爆音はガマンの限界を超えている」と、基地周辺住民が新田原基地爆音訴訟を起こしました。原告団は約 180 人です。

○2018年…福岡県の航空自衛隊築城基地と、宮崎県の新田原基地に、米軍の武器弾薬庫や戦闘機の駐機場などを整備することで日米合同委員会が合意。

■米軍の常駐化狙う

日米合同委員会の合意は、普天間基地の「能力を代替」するとして、両基地に駐機場・燃料タンク・弾薬庫・庁舎・倉庫などを建設し、「緊急時」にそれぞれ戦闘機12機程度、輸送機1機程度、米兵約200人の受け入れを想定しています。

新田原基地に着陸する米軍嘉手納基地のＦ15 戦闘機。

普天間の「能力代替」と言いながら、普天間基地にない弾薬庫を造る理由について防衛省は、「詳細は控える」と明らかにしていません。

また、普天間基地の「返還期限」とされている2022年度までの整備を計画。宿舎の整備と合わせ米軍の常駐化を狙っています。防衛省は「全米軍」が使用対象で、F35ステルス戦闘機やオスプレイなどの飛来も「ありうる」と説明しました。※築城基地では滑走路約2400mを約300m延長

■税金 115 億円かけて…。

米軍が緊急時に使用するために115億円（国民の税金で）かけて、新田原基地に米軍専用の弾薬庫・燃料タンク・駐機場・庁舎・倉庫を整備し、誘導路の改修をすると言う突然のニュースに、私たちはビックリしました。

弾薬の種類と量が具体的に示されていないので、劣化ウラン弾・白りん弾・小型核兵器などが貯蔵されるのではないのかと、町民は不安でいっぱいです。新富町議会で弾薬のことを取りあげた議員に対して、町長は「わからない」と無責任な態度です。

■辺野古と新田原、根本は同じ

米軍の緊急時とは、機体のトラブルではありません。国家間のトラブル、つまりアメリカが戦争するときです。米軍が戦争するときには新田原基地を使わせろということです。

安倍政権が強行採決した戦争法の下では、同盟国（アメリカ）の危機は日本の危機ということで、米軍と一緒になって自衛隊も攻撃に参加する仕組みができています。今、新田原基地が米軍と自衛隊の出撃基地に生まれ変わろうとしています。

築城基地・新田原基地を米軍基地に作り替えようとしている問題と、オール沖縄が、選挙という民主的な手続きで、新基地建設ストップを訴えても無視をする問題の共通点は、日本国憲法を蹂躙して、日米安保条約を最優先する政治だと思います。

（さがわよしまさ）

上下…抗議行動や申し入れを行う地元のみなさん。

昨年 6 月、築上町で行われた築城基地の米軍基地化に反対する 1500 人の集会。辺野古土砂北九州の関係者もたくさん参加していましたが、佐川さんもこの集会に参加し、宮崎からの連帯の挨拶をされていました。

浦島悦子の連続エッセイ　≪南の島から≫　№7

コロナ禍の中でも真白にイジュは咲く

ヘリ基地いらない二見以北十区の会共同代表／フリーライター

朝まだき、寝床の耳に「キュロロロ～～」というアカショウビンの声（奄美・沖縄では、鳴き声にちなんで「クッカルー」「クカル」と呼ぶ）が裏山から届く。「あー、今年も来てくれた！」と嬉しくなる。夏の訪れを告げる、色も声も美しい渡り鳥だ。裏山には、やんばるの雨期を彩るイジュの花も咲き始めた。コロナ禍の中でも季節は変わりなくめぐってくることに感謝せずにはいられない。自然の恵みが、今年はことさらにありがたく思える。

＊

この時期、森のあちこちを白く染めるイジュは、イタジイ（スダジイ）を主とするやんばるの自然林を構成する代表的な木の一つだ。その花の清楚な白さが人々の心をとらえ、「伊集ぬ木ぬ花や　あん美（ちゅ）らさ咲ちゅい　わぬん伊集やとて　真白（ましら）咲かな＝イジュの木の花があんなにも美しく咲いているよ。私もイジュのように真っ白に咲きたいものだ」と琉歌に唄われ、琉球古典音楽の代表曲の一つである「辺野喜（びぬち）節」の歌詞としても親しまれてきた。

＊

一方で、「美しいものには毒がある」という言葉通り、イジュは昔から「魚毒」として生活の中で重宝されてきた。イジュの樹皮を砕いたものを潮溜まりなどに撒く（「ササを入れる」と言う）と、樹皮に含まれる成分で魚がしびれ、いっせいに浮かんでくる。それを手づかみで獲って、シマ中の人に分けたという話を大浦集落の古老から聞いたことがある。タンパク質の少ない時代の、たまのご馳走だったのだろう。

＊

大浦湾に突き出した瀬嵩（せだけ）の御嶽森（うたきむい）を彩るイジュの花は、白い衣装を着て大浦湾やシマの人々を守る神さまのように思える。新基地建設工事の進む海を見下ろすその心中はいかばかりだろうか…。

＊

さて、「宿題」を忘れてはいけない。「三原の簡易水道」の続きだ。

私が三原に住むようになって間もない頃（15 年ほど前）、水道補修作業の際にお願いして、一度だけ水源地まで連れて行ってもらったことがある。一歩踏み外せば谷底にまっさかさまに落ちてしまいそうな崖の細道や、ロープにつかまって登る滝などを越えてようやくたどり着いた水源地は、木漏れ陽を浴びてキラキラと美しかった。ここから水が来ているんだと思うと、心からありがたかった。

＊

当時、私は山のガイドなどもやっていたので、山歩きには慣れていると思っていたが、山道や配管を直すための大きな道具や材料を担いで歩くなんてとても無理だと悟った。私が水源地まで歩けたのは手ぶらだったからだ。同行した 30 代の男性は途中でへばって脱落した。かつて山仕事で鍛えた 60～70 代の男たちがまぶしく輝いて見えた。

＊

今回もまた中途半端でごめんなさい。次で締めるようにしますね。いま猛威を振るっている未知のウイルスも、神と悪魔の両面を持っているのかもしれないと思います。そこから私たちが何を学び、どんな未来をつくっていけるのか。皆で考えていきましょう。

（うらしまえつこ）

植物も鳥も底生動物も…絶滅危惧種の宝庫

和白干潟をラムサール条約の登録湿地に

和白干潟を守る会 代表 山本廣子

県外の土砂を沖縄県に持ち込まないことには、沖縄の生態系を守る意味があります。そして、沖縄だけでなく、どの地域にもそこにしかない豊かな生態系があるものです。
４月号で、超簡単に沖縄県の大浦湾やヤンバルの生態系を、５月号では、北九州市の曽根干潟を取り上げました。６月号では、福岡市の和白干潟をご紹介します。（編集部）

■日本海側では最大の和白干潟

私のふるさとは博多湾・和白干潟のすぐそばです。子どもの頃は和白干潟で泳いで過ごしました。潮干狩りも盛んです。

和白干潟（80ha）は博多湾の東部、和白海域（300ha）にある砂質干潟で、日本海側では最大規模の干潟です。

周辺の博多湾沿岸はほとんど人工の海岸になっていますが、ここには砂浜、岩礁地帯からヨシ原、クロマツ林へと続く貴重な自然海岸が残っています。干潟本来の姿を今に残す日本では数少ない貴重な干潟です。和白干潟は自然海岸のある干潟として「にほんの里100選」に選ばれています。

また東アジアの水鳥の渡りルートにあたる国際的に重要な場所で、1980年以降240種の野鳥が観察されています。1975年より飛来を確認しているミヤコドリの渡来地として有名です。絶滅が心配されているクロツラヘラサギ・ツクシガモなどの越冬地としても重要です。水鳥たちがたくさんやってくるのは、餌となる貝、カニ、ゴカイなどの底生動物が豊富であり、広くて安全な場所があるからです。

生きものの宝庫、和白干潟

■戦後4割以上の干潟を失った日本

和白干潟にすむたくさんの小さな生きものたちは干潟に穴を掘ってすんでおり、干潟に酸素を供給します。また微生物、底生動物、魚、鳥と続く（人間も含まれる）食物連鎖により、海水を浄化しています。

日本では戦後4 割以上の干潟が、埋め立てなどで失われてしまいました。和白干潟は福岡市という大都市に残る貴重な自然環境です。しかし、福岡市の人口増加による家庭排水の流入増と、博多湾のあいつぐ埋め立てで浅海域を失い、浄化能力を落とした博多湾は、弱ってきています。1994年から和白干潟沖を埋め立てる人工島建設工事（401ha）が進行中のため、影響が心配されています。

■埋め立てる勢力が強くて

博多港港湾計画で和白干潟を全面埋め立てる計画があり、私は1987年に和白干潟保全の請願書を福岡市議会に提出しました。請願書は奇跡的に採択されて、和白干潟は保全されることになりました。しかし和白干潟を埋め立てる勢力が強かったので、1988年4月に和白干潟を守る会を設立して、和白干潟の保全活動を開始しました。今年で32年になります。

和白海域は2003年に「国指定和白干潟鳥獣保護区」に指定され、2004年には環境省のラムサール条約登録湿地の候補地にもなりました。世界中で干潟などの湿地を保全する「ラムサール条約」もでき、守る努力がなされています。博多湾・和白干潟が「ラムサール条約」の登録湿地となり保全されるように願っています。

■和白の自然を子どもたちに残すために

和白干潟を守る会では、大切な和白干潟の自然を未来の子どもたちに残すために、自然観察会・自然観察ガイド講習会・和白干潟まつり・クリーン作戦・鳥類調査・水質調査・ゴミ調査・ 和白干潟通信やパンフレット、写真集などの発行・ホームページでの広報・定例会議の開催・シンポジウムの開催などを行っています。

私たちは地道な環境保全活動を通して、博多湾・和白干潟の自然の大切さを多くの方々に伝えたい、また地球規模の環境保全活動を進めたいと願っています。和白干潟の観察会やクリーン作戦に参加された方たちが、地域の自然を守る心を通して、地球全体の自然や環境を守る心を育ててほしいと願っています。

■日本の南限の植物も

自然海岸のある和白干潟沿岸は、海浜植物や塩生湿地植物の貴重な生育場所です。

春期にはツルナ・シオクグ・ハマエンドウ・ハマダイコン・ハマヒルガオ・ハマニンニクなどが花や穂をつけます。夏期にはハマナデシコ・ハマゴウ・フクドなどが花や穂をつけます。牧の鼻の海岸には、自生したハマボウがたくさん育っています。毎年夏になると美しい黄色い花を咲かせます。秋期には干潟を赤く彩るハママツナやアシ(ヨシ)の穂が見られます。

希少種としては、ハマニンニク「絶滅危惧Ⅱ類(福岡県)」・ハマサジ「準絶滅危惧(環境省)」「絶滅危惧Ⅱ類(福岡県)」・ハマボウ「絶滅危惧Ⅱ類(福岡県)」・シバナ「準絶滅危惧(環境省)」「絶滅危惧 1B類(福岡県)」・ウラギク(ハマシオン)「準絶滅危惧(環境省)」「絶滅危惧ⅠB類(福岡県)」・フクド「準絶滅危惧(環境省)」「絶滅危惧Ⅱ類(福岡県)」・ハマオモト「絶滅危惧ⅠB類(福岡県)」などが知られています。またハマニンニク(九州では和白海岸にのみ自生)とハマアカザは日本の南限

秋に干潟を赤く彩るハママツナ

ウラギク（ハマシオン）は「準絶滅危惧(環境省)」「絶滅危惧ⅠB類(福岡県)」に指定されている

定期的に行われるクリーン作戦

和白干潟自然観察会…自然や環境を守る心を育ててね

となっています。

希少植物群落に指定されているのは、危険度が高いカテゴリーⅠが塩沼地群落のフクド群落、シバナ群落、ハママツナ群落。対策必要のカテゴリーⅡがヒトモトススキ群落、ハマサジ群落です。

外来種としては、ナルトサワギク・オオキンケイギク（緊急対策外来種・特定外来種）・シナダレスズメガヤ・セイタカアワダチソウ・ウチワサボテン・ランタナ・コマツヨイグサ・アツバキミガヨラン（重点対策外来種）。これらの外来種と、和白干潟の在来種ウラギクなどとの競合が懸念されます。

■海岸の本来の姿残す和白干潟

海浜植物の後背にはテリハノイバラ・ハマゴウなどの低木群落があり、その後背地にはトベラ・シャリンバイ・マサキ・センダン等と黒松林があります。アシ（ヨシ）原奥の淡水の湿地では、ヒトモトススキの大きな群落地があり、夏に黄土色の穂を付けます。和白干潟は海浜本来の姿が残されている貴重な場所です。

■和白干潟の鳥類

和白干潟の春・秋期は渡り鳥たちが立ち寄って行きます。メダイチドリ・オバシギ・アオアシシギ・キアシシギ・ホウロクシギ・オオソリハシシギ・チュウシャクシギなどです。

冬期には越冬する鳥類が訪れています。マガモ・ハシビロガモコガモ・ヨシガモ・オカヨシガモ・オナガガモ・ヒドリガモ・ホシハジロ・ウミアイサ・ツクシガモ・スズガモ・ホオジロガモなどのカモ類、ハマシギ・ミユビシギ・ダイシャクシギ・ダイゼン・ミヤコドリなどのシギ・チドリ類、カンムリカイツブリ・ハジロカイツブリなどのカイツブリ類、セグロカモメ・ユリカモメ等のカモメ類の他クロツラヘラサギ・オオバンなどです。

1年中見られるトビ・ハヤブサ・ミサゴ・カルガモ・イソシギなどとダイサギ・コサギ・アオサギなどのサギ類とカワウがいます。夏期には夏鳥のオオヨシキリやコチドリ・コアジサシなどが渡ってきます。

■ミヤコドリは江戸時代から和白干潟に

希少種は、ホウロクシギ「絶滅危惧Ⅱ類（環境省）」「絶滅危惧Ⅱ類（福岡県）」・オオソリハシシギ「絶滅危惧Ⅱ類（環境省）」「準絶滅危惧（福岡県）」・ダイシャクシギ「絶滅危惧Ⅱ類（福岡県）」・コアジサシ「絶滅危惧Ⅱ類（環境省）」「絶滅危惧Ⅱ類（福岡県）」・ツクシガモ「絶滅危惧Ⅱ類（環境省）」「準絶滅危惧（福岡県）」・クロツラヘラサギ「絶滅危惧ⅠB類（環境省）」「絶滅危惧ⅠB類（福岡県）」・ヘラサギ「情報不足（環境省）」「絶滅危惧ⅠB類（福岡県）」・シロチドリ「絶滅危惧Ⅱ類（環境省）」「絶滅危惧Ⅱ類（福岡県）」・ミヤコドリ「絶滅危惧Ⅱ類（福岡県）」・ホオジロガモ「絶滅危惧Ⅱ類（福岡県）」・カンムリカイツブリ「準絶滅危惧（福岡県）」・ハヤブサ「絶滅危惧Ⅱ類（環境省）」「絶滅危惧Ⅱ類（福岡県）」・ミサゴ「準絶滅危惧（環境省）」・ミユビシギ「準絶滅危惧（福岡県）」・ハマシギ「準絶滅危惧（環境省）」・オオヨシキリ「準絶滅危惧（福岡県）」などです。

ミヤコドリは江戸時代から和白干潟付近に渡ってきていることが「筑前国産物絵図町」に書かれており、1980年から2000年代頃には和白干潟はミヤコドリの渡来地として有名でしたので、和白干潟のシンボル鳥として和白干潟を守る会の会鳥に指定しました。

現在は20羽程が越冬しています。クロツラヘラサギは1990年代初め頃から見られるようになり、最近では15羽程が越冬しています。

和白干潟に春と秋に立ち寄る渡り鳥の
チュウシャクシギ

■和白干潟は沖からの砂でできた「前浜干潟」

和白干潟は、主に沖合から砂が寄せてで

きた前浜干潟といわれています。主に砂の干潟が多く、河口付近は砂泥干潟や泥干潟が、牧ノ鼻や雁ノ巣付近には岩礁地帯もあり、多様な環境があります。それぞれの場所に適した生き物がすんでいます。

カニ類ではコメツキガニ・マメコブシガニ・ヤマトオサガニ・アシハラガニ・ケフサイソガニ・ハマガニ・ハクセンシオマネキ・クロベンケイガニなど、貝類ではアサリ・オキシジミ・ソトオリガイ・ウミニナ・ホソウミニナ・ホトトギスガイ・ツボミガイ・アラムシロガイ・シロスジフジツボ・タテジマフジツボなど、他にはフレリトゲアメフラシ・ハマトビムシ・ヨコエビなど、多くの生きものがすんでいます。

■底生動物にも沢山の希少種が

希少種ではハクセンシオマネキ「絶滅危惧Ⅱ類(環境省)」「絶滅危惧Ⅱ類(福岡県)」・シオマネキ「絶滅危惧Ⅱ類環境省)」「絶滅危惧ⅠB類(福岡県)」・ウモレベンケイガニ「絶滅危惧Ⅱ類(福岡県)」・ハマガニ「準絶滅危惧(福岡県)」・ヒメアシハラガニ「準絶滅危惧(福岡県)」・オサガニ「準絶滅危惧(福岡県)」・ウミニナ「準絶滅危惧(環境省)」「準絶滅危惧(福岡県)」・フトヘナタリ「準絶滅危惧(環境省)」「準絶滅危惧(福岡県)」・オカミミガイ「絶滅危惧Ⅱ類(環境省)」「絶滅危惧Ⅱ類(福岡県)」・ツボミ「準絶滅危惧(環境省)」「準絶滅危惧(福岡県)」・ツバサゴカイ「絶滅危惧Ⅱ類(福岡県)」・イトメ「情報不足(福岡県)」・ヨモギホンヤドカリ「準絶滅危惧(福岡県)」・オオノガイ「準絶滅危惧(環境省)」「準絶滅危惧(福岡県)」・キヌカツギハマシイノミ「絶滅危惧Ⅱ類(環境省)」「絶滅危惧Ⅰ類(福岡県)」などです。

和白干潟で一番多いカニが、このコメツギガニ

■生きものの楽園「和白干潟」

春期の和白干潟ではアサリの潮干狩りが盛んです。4・5 月の大潮の干潮時には500人以上の人が干潟に入っています。渡り鳥にとっては、人が多くて干潟を利用しにくいようです。

夏期には干潟の底生動物たちも繁殖期を迎えるものが多く、活動が活発になります。砂質の和白干潟では、カニではコメツキガニが最も多く、干出した干潟のあちこちで見られます。河口付近では絶滅が心配されるハクセンシオマネキやチゴガニがさかんにハサミを振っています。

泥地ではヤマトオサガニがダンスをしています。ゴカイではタマシキゴカイが真夏の干潟の沖合いに巣穴からフンを出しスパゲティのように積み上げています。三角の山が無数に干潟上に現れて、月面のようです。アシ原の中に巣穴を掘って生活しているアシハラガニやクロベンケイガニは、夜行性で夕方になると干潟にぞろぞろと出てきます。夜に干潟沿岸を歩き回って食事をしています。和白干潟は、様々な生きものであふれます。
大切な和白干潟をラムサール条約の登録湿地にして、守っていきたいと願っています。

（やまもとひろこ）

★和白干潟を守る会
811-0202 福岡市東区和白1-14-37
TEL/FAX 092-606-0012
ホームページ：
http://wajirohigata.sakura.ne.jp/

「絶滅危惧Ⅱ類（環境省）」「絶滅危惧Ⅱ類（福岡県）」のハクセンシオマネキ

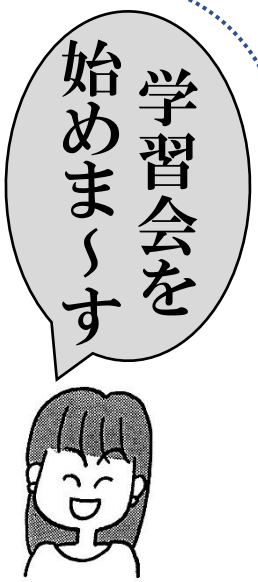
コロナウイルスの関係で、開催が遅れていた連続学習会が、「紙面学習会」としていよいよスタートします。

今回のテキストは、当初 10 回で終わる予定でしたが、紙面学習会では≪１ヶ月目…学習、２ヶ月目…質問や感想、３ヶ月目…先生からのコメント≫と、通常の３倍時間がかかります。でも、ゆっくりでも前に進んでいれば、いずれ全部終わる日が来ます。また、可能であれば夏頃一度顔を合わせた学習会も計画したいと思っています。

講師の天久先生には、当初１時間のお話をしていただく予定でしたので、紙面の 2500 字では「さわり」しか触れられないと思います。本当に申し訳ありません。

ともかく、さっそく始めたいと思います。講師の天久先生、みなさん、よろしくお願いします。(世話人会一同)

※天久先生は北九州第一法律事務所の弁護士です。



講師の天久泰です
ご一緒に学んでいきましょう

■はじめに

「日米地位協定－在日米軍と「同盟」の 70 年」(山本章子著）をテキストとして、日米地位協定の歴史と本質を学び、沖縄問題を含む国内外の平和の問題を考えるにあたっての基礎的知識獲得を目標とします。

今回は第１章（占領から日米安保体制へ―駐軍協定）をご紹介し、私見を付記します。小見出しにテキストの該当ページを付記します。

日米地位協定・日米合同委員会・日米安保条約≪連続学習会≫№1

テキスト…日米地位協定－在日米軍と「同盟」の 70 年(山本章子著)

第１章　占領から日米安保体制へ―駐軍協定

1　占領軍の実態　3p～

1945 年８月、日本は無条件降伏し、米国の占領が始まりました。同月 30 日にマッカーサー連合国軍最高司令官が来日し、日本の非軍事化と民主改革の推進が始まりました。1945 年末には約 43 万人の米軍が駐留し、1952 年４月のサンフランシスコ講和条約発効時点では 1352 平方キロメートル(北九州市面積の約 2.8 倍)の国土が、占領軍の管理下に置かれました。演習場周辺の土地の強制接収のほか、多数の米兵による犯罪が発生し(1952 年は 6000 件弱)、国民の反発を深めました。

2　講和条約の背景・日米地位協定の萌芽　5p～

吉田茂首相は講和条約を早期に締結して独立を回復するために、米軍駐留を引き続き認める必要がありました。

米国内には国務省と国防省・軍部との対立が存在しました。国務省は日本の共産化を防ぎ安定した親米政権をつくるため、講和条約

の早期締結を支持しましたが、軍部は日本独立後も本土に米軍を駐留させ、沖縄など南方諸島は米軍の排他的統治を敷く必要があり、講和条約は時期尚早であるとの立場でした。

他国の軍隊が平時も常駐することは、第 2 次世界大戦以前は植民地と保護国でのみ見られる限定的なものでした。また、独立後の駐留は日本の主権と対立する点、ソ連を刺激しうる点、憲法 9 条の理念に反する点が問題でした。そのため、日本政府は講和条約について米軍駐留を書き込まないことを方針とし、講和条約と切り離して日本防衛とひきかえに米軍へ基地提供を行うことを明記する協定の作成を進めました。この協定は「日米安全保障協定」と呼ばれました（これがのちに「日米安全保障条約」と「日米行政協定」に分かれ、後者の協定が日米地位協定へ改定されることになります。）。

日米安全保障協定案 7 項には日米合同委員会の起源となる規定がありました。委員会規定には、独立後も占領軍時代と変わらぬ地位と特権を在日米軍に与える実態は協定に明記しない意図がありました。

「日米合同委員会」とは、日本政府の代表と米国駐日大使、在日米軍の代表が出席し、議事録の非公開を原則として在日米軍に関する話し合いを行う場です。合意内容の公開は日米両政府の判断によることとされます。

3 日米行政協定の内容 12p～

米国務省は、日米行政協定の原則を、①駐留軍の地位は占領時と異なる、②駐留軍の規模は最小限とする、③都市部への駐留を避ける、④裁判管轄権はNATO並み、⑤日本を対等と扱うという点に置きました。

しかし、日米間交渉の結果（交渉過程でも交換公文という問題点があった。）、同協定の成案では、日米合同委員会における両国の合意を基地提供の原則とし、委員会で合意が成立するまでの間は現状の米軍基地や施設が継続利用できることとされました。すなわち、「日本国は、合衆国に対し、安全保障条約第一条に掲げる目的の遂行に必要な施設及び区域の使用を許すことに同意する。個個の施設及び区域に関する協定は、この協定の効力発生の日までになお両政府が合意に達していないときは、この協定の第二十六条に定める合同委員会を通じて両政府が締結しなければならない。（後略）」とする 2 条 1 項です。

また、裁判管轄権についても 17 条で、1953 年にNATO軍地位協定が発効するまでの間、家族も含めた米軍関係者の犯罪に関する刑事裁判権が日本側に許されないと定められました。

日米行政協定は、1952 年 4 月 28 日に講和条約および旧日米安保条約と同時に発効しました。旧安保条約は全 5 条であるのに対し、協定は 29 条にも及びました。条約の実質部分は協定に移される形でした。

4 日米行政協定の問題点 25p～

日米行政協定には 3 つの問題点がありました。駐留軍の規模や場所、期限についての定めがなかったこと、米軍が占領期に有していた特権がほぼそのまま維持されたこと、米軍基地の維持費として毎年 1 億 5500 万ドルを日本が負担すること（防衛分担金）でした。

米軍が接収した全国 750 弱の基地と約 3000 弱の施設は講和条約発効に伴い返還されるどころか場所によっては拡張されることになり、石川県内灘試射場、立川基地（砂川闘争）などの反基地闘争を招くことになりました。

5 感想

日米地位協定の萌芽である日米行政協定成立には、講和条約やNATO発足の成立時期という時間的背景のほか、日本政府と米国政府、そして米国政府内の国務省と国防省、軍部のパワーバランスが大きく影響しています。

その中でも、特に米国軍部の強い意向がうかがえます。日本の主権回復後の米軍駐

留は当時のグローバルスタンダードにも反し、また、軍事力不保持を謳う憲法９条との乖離（かいり）は明らかでした。そのような大きな欺瞞や矛盾を生じさせてでも駐留させたかったのは、戦争中の日本軍の姿が念頭にあったのではないかと考えます。西日本新聞の記事を引用します。

「米国の研究者らの推定では特攻で約120 隻の米艦船が沈没。約３千人の米兵が死亡し、約 6 千人が負傷した。兵士らは「狂信的な自爆戦術」として恐れた。1945 年 3 月 24 日、沖縄戦で特攻を受けた元海軍のマックス・パイン氏は 2007 年、米紙に「自分たちの船が標的にされていると悟った瞬間の気持ちは、とても言葉で表現できない」と証言。太平洋上で特攻機に２度、回天に１度、攻撃を受けた元海軍のジェラルド・W・トーマス氏は、退役軍人の団体機関誌への寄稿で「パニックに陥った艦上の射手が味方の戦闘機に発砲したり、射程外の特攻機にやみくもに発砲したりした」と述べた。」（2014 年 7 月 29 日朝刊）。

操縦者の命を引き換えとした特攻は、米軍に物量的な被害を与えたほか、日本人の精神性が軍国主義に染め上げられていることを強烈に印象づけたことが元兵士の証言から分かります。第２次大戦中に戦地を直接統率した米軍部は、日本軍を畏怖し、二度と特攻による被害を受けないためにも軍国主義を日本から一掃し、永続的に駐留することを強く望んだのではないでしょうか。

（あめくやすし）

今回の学習内容について、ご質問や感想をお寄せ下さい。

皆さんからのご質問や感想は、次回(7 月号)会報に掲載します。寄せられた質問等に対する天久先生のコメントは、次々回(8 月号)会報に掲載します。

なお、質問・感想は 400 字以内にまとめて、下記にお送りください

〇メール…kanpanerura8k@mail.goo.ne.jp　(6 月 15 日締め切り)

〇ＦＡＸ…093-617-7454 宗吉あて　(6 月 13 日締め切り)

※黒のボールペンで読みやすい字でお書きください。

〇郵送…〒807-1264 八幡西区星ヶ丘 2-4-17 宗吉信あて

※北九州市内は６月 12 日(金)までに投函してください。
他地域は、それより 1～2 日早めにお願いします。

【ご案内】

辺野古土砂北九州第6回定期総会

2020 年8月 23 日(日)14 時～

会場…パークサイドヴィレッジ 2 階・地域交流センター
（小倉北区大手町 14-22）

過去の総会参加者数を参考に、3 密にならないような広い部屋を確保していますが、状況によっては、集まることが難しくなるかもしれません。その時には、総会の開催の仕方を検討します。

≪辺野古土砂北九州・今後の予定≫

●6月10日(水)…≪世話人会≫パークサイドヴィレッジ地域交流センター・10時～
●6月13日(土)…≪特定外来生物・オオキンケイギク開花調査≫13時～
●6月22日(月)…≪会報発送作業≫パークサイドヴィレッジ地域交流センター・13時～
●6月26日(金)…≪小倉駅前街頭宣伝≫16時30分～17時30分
●8月23日(日)…≪辺野古土砂北九州第6回定期総会≫
パークサイドヴィレッジ地域交流センター・14時～
議案は、8月の上旬到着予定の会報に掲載予定です。会場の地図も掲載します。

※どの取り組みも、コロナの関係で開催できるかどうか不明です。参加しようかな…と思われる方は、お手数をおかけしますが、下記電話番号までご確認ください。

※コロナ感染症で忙しくなった宅配業者の負担を減らすため、「発送は２ケ月分まとめて」と、先月お知らせしましたが、「紙面学習会」の関係があるので、毎月発送します。ころころ変わってすみません。

≪編集後記≫

怪しげな写真ですが、3 か月ぶりの街頭宣伝(5 月 22 日)の後、ちょっと集まって記念写真を撮りました。人通りは少なかったですが、行動すると元気が出ました。マイクでは「新基地建設のお金を、国民の命を守ることに使え」と訴えました。

※訂正とお詫び…5 月号の「曽根干潟」のアサリの話のところで、「蓄養」とすべき所が「畜養」となっていました。校正の時に伝えられていたのに、見落としてしまいました。申し訳ありません。(編集部)

あなたも「辺野古土砂北九州」に入りませんか

ご希望の方は一番下の連絡先までご一報をお寄せください。年会費は個人 1000 円・団体 3000 円です。カンパも大歓迎です。※振込用紙には、会費・カンパなど、内訳をお書きください。
【辺野古土砂北九州の口座は】ゆうちょ銀行　　記号番号　01700-7-166911
【他金融機関から振り込む場合は】　当座　一七九店　0166911
加入者名…「辺野古埋立土砂搬出反対北九州連絡協議会」

「辺野古埋め立て土砂搬出反対」北九州連絡協議会
〒803-0816 北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方
八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608
kanpanerura8k@mail.goo.ne.jp